

津波の流木奏でる音を

多治見・中津川で 来月バイオリン演奏会

東日本大震災の津波の流木で作られたバイオリンが奏でられるコンサートが、七月二十日に多治見市文化会館(十九田町)で、二十一日に東美濃ふれあいセンター(中津川市茄子川)で開かれる。

「奇跡の一本松」が描かれてい

「千の音色でつなぐ絆」の一環。盛岡市のNPO法人「命をつな



コンサートの趣旨を青山節児市長(左)に説明する加藤景司社長＝中津川市役所で

ち、木魂の会の又川俊三会長による講演もある。

中津川では、加藤製作所など「KATOグループ」の創業百二十五周年記念事業として開かれる。二十七日に加藤景司社長(左)が市役所で、青山節児市長に協力を求めた。

開演は多治見が午後二時半、中津川は午後一時。ともに入場料千円(小学生以下は無料)。問い合わせは、多治見は県倫理法人会 電話058(326)1120、中津川は加藤製作所 電話0573(65)4175へ。

(平野誠也)